

**第 28 回山形県理学療法学会大会趣意書**  
**『理学療法評価の再考 ～ 臨床的推論の側面から ～ 』**

第 28 回山形県理学療法学会大会  
大会長 田中 基隆

理学療法士の使命は対象者が地域で生活し続けることを支援することです。しかし、それを可能にするには、それぞれの対象者に応じた個別の評価・分析能力が必要であり、これこそが「結果を出すための理学療法」において重要な鍵になると考えます。

我々、理学療法士が提供できるサービスには無限の可能性があると信じています。しかしながら、若手においては診断名に、経験のある者にとっては経験則に固執しすぎた画一的な評価・分析が行われているのではないかとの指摘もあります。それぞれの対象者に応じた適切な評価・分析にもとづく、「結果を出すための理学療法」が遂行できなければ、我々は時代と共に不要な存在にも成りえると考えます。

そこで、本学会大会では、テーマを「理学療法評価の再考 ～ 臨床的推論の側面から～」とし、今だからこそ、対象者を支援するための評価・分析として重要となる臨床的推論を原点に立ち戻って皆さまと一緒に考え直す機会にしたいと思います。

特別講演では、臨床的推論の重要性を再認識するために大工谷新一先生より近年の理学療法を取り巻く現状と社会に求められる理学療法士の能力についてご講演いただきます。また、シンポジウムでは、様々な領域において臨床で理学療法を提供している 3 名の先生方をお招き致します。瀬尾章央先生には運動器領域での臨床的推論、大原隆洋先生には神経系領域での臨床的推論、海老名陽介先生には内部障害での臨床的推論についてご講演いただき、臨床での知識の使い方や考え方の構築を図りたいと思います。さらに、教育講演として山岸茂則先生より臨床的推論を行うにあたり必要な知識である運動学や神経生理学的考察にもとづく理学療法の提供についてご講演していただきます。

市民公開講座では井上聡子先生より、理学療法分野のみならず、社会的に注目されている「ウイメンズヘルス」についてご講演していただきます。

本学会が有意義な時間となり実り多い学会となることを願い、皆様のご参加を心よりお待ちしております。